

みこころ



カトリック松山教会
〒790-0003 松山市三番町四丁目 5-5
Tel.089-921-1849 FAX089-921-2109
アントニオ・リー神父O. P
発行 広報活動委員会

開かれた教会・心を開く

皆さんこんにちは、アントニオ・李(リー)です。

私は、1980年(昭和55年)3月3日に韓国の天安で生まれました。40歳です。



カトリック松山教会担当司祭
アントニオ・リー神父O. P

この度、ドミニコ会の人事異動で、カトリック松山教会の担当司祭として任命され、福岡の箱崎教会から今年5月16日に松山に来ました。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、一時ミサを中止するなど大変でしたが、今は、皆さんの協力も得て、聖堂内での密閉・密集・密接・3密対策をとって、午前9時からと午前11時からの2回に分けて

ミサ・集会を行っています。

松山教会は、私にとって大切な場所です。幸せな教会づくりを目指しています。

同じ信仰を持つている信徒の皆さん、一つの共同体で、一つの家族でありますので、皆さんこれからもお願いすることがあります。

① 共同体の信者の皆さんが判断することより、神の慈しみと愛をもって生活することに組み込んでいきましょう。

② カトリック教会の教えと精神は神の愛から離れることはありません。

「外に向けて働きかけることも大切ですが、私たちの心の中、教会の精神を満たすことも大事です。」

愛を実現するとか、奉仕することも大切ですが、私たちの心の中にはカトリック信徒として、カトリック教会の教えとカトリック教会の精神のもとに働くことに力を入れましょう。

まず、私たちの信仰がカトリックの教えから従うようにしましょう。

③ 「使われることよりも、使うこと」

教会からいろいろ頂きたいことありますが、私たちは奉仕する場、互いに奉仕することが大切です、皆さんの協力がなければ「開かれた教会」をつくることが難

しい。奉仕されることより奉仕することを考えましょう。

④ 松山教会は長い歴史と伝統をもっている活動をしてきました。これからの松山教会はこじんまりの教会ではなく「開かれた教会」を目指して、お互いに「心を開く教会」をつくることを大切にやっていきましょう。

⑤ 「喜びを喜べ」私たちは神様から大きな幸せを頂いています、その幸せを秘跡と、神のみ言葉でいつも頂いています。頂いたそれだけでなく、広がりあるものにつなげていく事も必要であります。一人ひとりが神のみ言葉を伝える、神の喜びを伝える事ができるようにしましょう。

最後に、私は一人の人間です、間違いもあると思いますが、ドミニコ会は引き続いて、松山教会のために協力いたします。

松山教会は高松教区の一つの小教区なので司教様のもとで一緒に歩んでいき、司教様の指導に従います。

皆さんも互いに信頼をもって神の慈しみと愛を伝える一歩を、私と共に頑張りましょう。

初聖体の勉強会

杉浦 駒子

毎年「聖体の祝日」を目指していた初聖体の勉強会も今年は、新型コロナウイルスのため中断していました。

しかし7月5日から無事再開することが出来ました。

生徒は小学三年生二人、四年生一人、六年生一人の計4人です。



パウロ	江藤 慈恩 (11歳)	小学6年
ドミニコ	上田 愛子 (9歳)	小学4年
テレジア	佐野 弘宗 (9歳)	小学3年
	新田 羽叶 (8歳)	小学3年



真面目で静かな子、明るく活発な子、大人っぽく理性的な子、等々それぞれ個性豊かです。

しかし一旦勉強が始まると皆真剣に神様やイエスさまの話を聞きそれに対する意見も出してくれます。

今年に限らず毎年その姿を見ていると思いつくのは、私自身の初聖体の勉強の事です。

40年前、弟と一緒に毎週土曜日に、亡くなられた木村美代子さん、岡本神父様、スペインに帰られたロサリア・ゴメスシスターに教えを受けました。時にシスターが熱心さのあまり口角に泡を溜めて話される姿には、子供心に驚きと感動を受けた事を思い出します。

神様がどれほど私達を愛してくださっているか、シスターご自身がどれほど神様を大切に思っているか、わかったか、わかってほしいと伝わりました。

また、沖縄カトリック小学校の教師をしていた25年前、初聖体の教本「うれしいはつせいたい」の著者である景山あき子シスターや校長のシスターアンジェラ森をはじめ多くのシスター方からも直接指導を受ける機会がありました。

どの方々も私の未熟な心を強く動かして下さいました。

「神様がどんなに私達を愛して下さいているか、どれだけ大きな心で私達を許そうとして下さっているか」ということを子ども達に伝える時、大切な事は、知識だけでなく教える側の情熱だと悟りました。

その後自分の息子、娘や教会のお子さん達に神様の事を伝える度に幼い自分に返って一緒に勉強している気持ちでいます。

あのころの純粹で真っ直ぐな神様を見つめる心を忘れないように・・・と祈りながら。



教会学校の取り組み

松岡 幸子

7月26日。十一時半の御ミサ後に、今年度、初めての教会学校を行いました。

お祈りから始まって、神父様自らの自己紹介。

「福岡から松山教会に赴任してきたアントニオ・リー神父です。」

教会学校は、毎月四週目に行います。シスターか

神父様が、神様の話をします。

でも、15分以上しません。

一緒に遊びましょう。是非遊びに来てください。」

と神父様の笑顔のこもったお話で周りには和んでいました。



しかし、子供たちはお腹がすいていた様子で、2個づつのおにぎりをペロリと完食。

食事の後は、神父様と「黒ひげ危機一髪」のゲームをするなどして、カトリックセンターに子供たちの楽しい笑い声が響いていました。

子供たちは、教会学校が終わった後も、まだ遊びたかった。

楽しかったと喜びの声が聞かれました。

忙しい中ご尽力いただける神父様とシスターへ感謝します。

今後もコロナ対策をしながら、教会学校を実施してまいりますのでよろしくお願いします。



マリア書院の思い出

谷田部 美恵子

マリア書院は2005年7月から、信徒有志の皆さんのご奉仕により、当番制で営業することになった。とは言っても、ボランティアの協力者を募ることから始め、本の在庫調べ奥の部屋の大掃除など片づけに追われ、てんやわんやのうちに日は過ぎていった。

その間に、サンパウロのブラザー楠木よりボランティア心得（挨拶・接客・電話・その他の心がけ等）の指導を受けて、私達のやる気もだんだん高まっていたように思う。



時にはこんな言葉も

◎ 私達のボランティアが神のご計画の実現に役立つものでありますように。

◎マリア書院が単に物を売るだけでなく
愛の実践の場であり、
安らぎの場であり続けるために、
心を合わせていくことができますように。
と祈りを込めて尽くしたと思う。

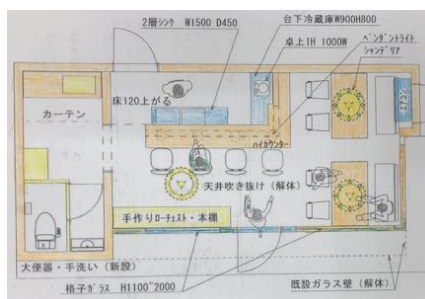


反面、至らなかつた事も沢山思い出される。
年齢による心身の衰えにはどうしようもなく
この度の成り行きを素直に喜びたい。
15年もの間、
本当に多くの方に支えて頂いたこと、皆様に心より
感謝申し上げます。



【お知らせ案内】

◎新しくなるマリア書院。
名前はまだ決まっていますが、「開かれた教会」
として、皆さんが自由に出入りできる、憩いの場を
目指して今リニューアルしています。
(完成予想図)



コーヒーやお茶、お菓子などがあります。
自由に召し上がって下さい。
値段は決まっています。
皆さんの気持ちを頂ければ幸いです。

◎墓参ミサの代わりに合同追悼ミサ開催。



カトリック松山墓地での「墓参ミサ」。今年は新
型コロナウイルス感染拡大の恐れのため中止しま
す。

その代わり11月2日(月曜日)の「死者の日」
にカトリック松山教会で「合同追悼ミサ」を捧げる
予定です。



◎新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ。
今後も、新型コロナウイルス感染には充分注意を
してください。皆さん油断は禁物です。ひとり一人
が自分の命を守りましょう。

カトリック松山教会でも、密閉・密集・密接の3
密対策を続けています。皆さんも協力して下さい。